

どちらにころをつなぐか

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン
「今日のフォーカスチェンジ」第2711号
(2011年4月2日発行)より

私が全面応援している、かつこちゃん
(山元加津子さん)のメルマガで、ある投
稿が、紹介されていました。

<http://miyakatsu.ti-da.net/e3011111.html>

今回の東日本大震災のことで、何かでき
ないかと、ころをいためた中学生が、
自分で描いたイラストを、あるサイトに投
稿したところ、「自己陶醉」と批判されて、
ショックを受けてしまったという内容でし
た。

あわせて、募金を呼びかけたら、「売名
行為」と言われてしまったというかたの投
稿も、紹介されていました。

どんなもの・ことにも、必ず、両面というも
のがあります。今回の震災で、被災地で
の、ひとびとの対応のすばらしさが報じ
られる一方で、あまり報じられてはいな
いけれども、やはり、窃盗や強奪というよ
うなことも、起きているという話も伝わっ

てきます。

そのとき、私たちは、自己選択をせまら
れているのだと思います。どちらにこ
ろをつなぐかを。

ひとに、批判されたとき(それがたとえい
われのないことであったとしても)、相手
を批判し返すのも、ひとつの選択。自分
を責めたり、うたがったりするのも、ひと
つの選択。

でも、それがすべてではありません。相
手をゆるすのも、ひとつの選択。どちら
か正しい・まちがいでではなく、そのよう
な視点もあるのかと、学びにするのも、ひと
つの選択。もちろん、自分を責めない選
択もね。

そして、もうひとつ。自分に照らしてみ
るということです。自分の内がわをしっかり
と見るのです。

ちょっときびしいようだけれども、「自己
陶醉」と言われて傷つくのなら、どこかに、
そんな気持ちがひそんでいたのではな
いか。「売名行為」と言われて傷つくの
なら、どこかに、それを怖れる気持ちが、

かくれてはいなかったか。

「ない」としっかり言えるのであれば、た
だ、毅然としていけばよいのです。

もしも、ほんのかけらでも、「ある」と感じ
る部分があるのなら、指摘してくれたひ
とに、感謝して、今後は、本当にありたい
かたちを、しっかりとめざしていけばい
いのです。

ただそれだけのことなのです。そしてそ
うすることは、そのひとにとって、より実り
ある未来につながりこそすれ、問題にな
ることは何ひとつないのです。

そしてね。これは蛇足ですが。そのよう
な指摘をしたひとのころのことを、少し
思ってみました。

そのひとは、もしかしたら、そのような行
動をとれるひとを、無意識のうちに、うら
やましいと思っていたのかもしれませんが、
でも、それを素直に表現できずに、「自
己陶醉」「売名行為」などという表現を使
ってしまったのかもしれませんが。そんな
ことはよくあることなのです。

あるいは、そのひとはもともと、そういう
表現のしかたを、悪気なく、使ってしまう
ひとなのかもしれません。たとえばちが
いますが、関西弁で言われれば傷つか
ないのに、関東弁で言われると傷つく。
そんなことだって、あるでしょう。

いいか悪いかは、別にして、そのひとに
とっては、日常茶飯事の、ちょっと辛口
の表現にすぎないことだって、実際にあ
るのです。(ちなみに、私も最近、そのよ
うな体験をしました)。(笑)

何が正解かは、わかりません。わかっ
ているのは、それを選択する自分がいると
いうことだけです。

あなたにとって、光ある選択を。それこ
そ何もできないけれど、そのことだけを、
ただ応援しています。

●日刊メールマガジン「今日のフォーカス
チェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、
2003年11月1日創刊。2010年12月、
2600号達成。3秒で読める携帯版もあり。
無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>